

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を实践するための制度の理解と活用
4. 理念を实践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 社会福祉法人ふるさと自然村 グループホームかがみ

ユニット名 のぎく

自己評価実施年月日 平成 21年 3月 1日

記録者氏名 廣瀬 久代

記録年月日 平成 21年 3月 1日

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	○	地域に根ざしたグループホームとなるよう日々検証を行っていきたい。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	○	隣接の老健を目印にホームを認識して頂いている。散歩時の挨拶などからも利用者を覚えて頂いている。常に見守られていると感じている。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	○	自治会には入っていないが地区の催しや運動会等には声を掛けて頂けるようお願いをしている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	取組んでいない。	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	ケアサービスの質の評価について職員に周知し共に考え今後のケアサービスについてより良いものとなるよう努めているが全ての面ではまだ不十分だと思われる。	○ 若い職員で言葉遣いや接し方、ケアの仕方等が未熟である。今年新卒で入職の職員も居り気付いた時にその都度振り返り改善に向けて考えてもらっている。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	昨年の評価を基に、行事報告だけでなく民生委員を通じての自治会活動の情報収集や事故報告及び対策等について話し合いを行い、意見を参考にサービスの向上に努めている。	○ 外部から別の視点での意見を聞き参考になる。利用者を含めたホームの課題をご家族にも理解して頂きサービス向上となるよう今後も取組んでいきたい。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	開設後初の実地指導を受けホームの課題や改善点が明らかになった。	○ 改善措置が必要な箇所は速やかに是正を行い市町村へも報告を行っている。口頭指導の箇所についても改善に取り組んでいる。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	研修会や勉強会に参加して学ぶ機会は設けているが現在活用はしていない。	○ 自己での学習からも知識としたものをしっかりと持ち必要な時は活用できるようにしていきたい。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	関連の研修会や勉強会に参加し意識を持ってケアに当たる様努めている。職員同士が声を掛け合い注意も行っている。	○ 困難事例に対して職員がストレスを溜めないように、相談しやすい職場の雰囲気作りに努めたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居の契約時にわかりやすく説明を行っている。また後々に家族からの相談や質問等あればその都度説明をし理解をして頂いている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常的に入居者の意見や不満等に耳を傾け話しを聴き改善に努めている。日常的にご家族のお話に耳を傾け信頼関係を築けるよう努めている。</p>	<p>○</p> <p>頻繁には来られないご家族に対との信頼関係を深める為、足を運んでいただける機会を作ってきたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時には必ず声を掛け近況報告を行っている。遠方の家族には手紙や電話にて近況報告を行っている。また小額のお小遣いでも用途については金銭出納帳に記入し家族に確認して頂いている。</p>	<p>○</p> <p>職員の移動や退職が有る事でご家族は不安に思われる事が有ると言われているので、事前にご家族に説明と引継ぎの状態を報告する。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や運営推進会議、ホーム行事参加の時など意見や苦情があれば速やかに職員で話し合いを設け対策を検討すると共に家族に回答しサービス改善に努めている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティングや毎日の申し送り等で意見を出してもらい家族の意見を含めて業務内容、利用者の事、他気付いた事などが話せる体制をとっている。</p>	<p>○</p> <p>介護保険の改正や社会の動向などを職員に情報提供し、職員からの運営に対する意見を引き出すきっかけを作る。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>行事や催しの参加も含め、利用者の1日の流れに沿ったローテーションをとっている。</p>	<p>○</p> <p>1日の最低人員は確保できているが、より柔軟な対応を可能にするためにも人員補充を希望している。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	極力避けてはいるがやむを得ず離職となった場合は利用者への説明を行うようにしている。また代わりの職員へは利用者の1日の生活の流れや個々の身体状況及びケアについて申し送りを行っている。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修参加だけでなく日々のケアでの疑問や対応困難なケース等ある時は相談を受け助言や指導を行って技術の向上に努めている。	○	個々の目標を明確にし、与えられるのではなく自ら学ぶ姿勢を持ってもらうよう日頃から話している。研修参加の職員には資料やレポートを提出してもらい回覧している。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関係機関（協力病院、同法人の施設、隣接の老健等）の研修会や勉強会、行事に参加している。また全国組織の同業者ネットワークに加入し研修や広報誌を通じサービスの質向上に努めている。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	質問事項や悩んでいる事などいつでも相談に乗っている。可能な限り助言も行っている。	○	認知症高齢者のケアを行うことで、一人間としての学びややりがい、喜びを感じて貰えるように実際の利用者の事例を通して職員全員で勉強して行きたい。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	必要時、相談や協力要請をしており共に取組んでいる。職員にはケアの中で気になる所は互いに意見交換し、各自が向上できるように声を掛け合っている。	○	利用者の良い変化や喜びをご家族やご本人を含めて、職員全員で共有できるよう笑顔の絶えない前向きな職場作りを行いたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の情報を基に面談を行い会話の中から新たな情報を引き出している。思いや悩みに共感し一人ひとりの思いに沿った生活が送れるよう心がけている。	○ 前回の評価以降ご本人の面談に際しては他の職員も同行を予定していたが様々な事情から実現できなかった。今後は実施できるよう取組んでいきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族から見た生活の中での様子や性格等細かな部分を理解する上でも思いや希望をよく聴き時には共感し受け止めている。	○ ホームの見学や電話等で何度でも話しを聴く機会を設けている。ホーム見学の際には他の職員とも話しをして頂いている。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	双方の意見や要望を踏まえた上でより良いサービスが提供できるよう職員間で何度でも話し合いを行っている。	○ 心のケアと生活の中で不安な部分を細かく話し合い家族の協力の下で少しずつ慣れて頂くよう関わりを持つようにしている。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	自宅からの入居希望の場合、入居までの間に見学は何度でもお受けしている。その間関わりを重視し安心して声を掛けやすいようコミュニケーションをとっている。病院からの入居希望の場合、家族や関係者と相談や協力し安心して入居して頂けるよう事前説明等の配慮を行っている。	○ ホームに慣れ混乱なく安心して生活が送れるように訪問時間や入居時の時間等を場合により家族に協力して頂いている。また、入居時にご家族に度々足を運んでいただく事をお願いしている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人ひとりの思いを大切にしながら、出来ると思われ事は見守りながら行ってもらう。出来ない事でもさりげない援助や声かけを行い一緒にする事で可能に近付けるよう心がけている。	○ 重い認知症の利用者でも残存能力には驚かされる事がある。食材の調理法や作物の育て方等日々のちょっとした会話からでも教えて頂く事がある。活動の少ない利用者でも箸を持って戴くときれいに掃除をしてくれる。少しでも出来る事を見つけたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	電話や面会時など利用者の近況を報告している。身の必要物品依頼や受診対応等、一緒に相談しながら行っている。また体調不良や事故等あればその都度報告しその後の経過についてもお知らせしている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者及び家族から互いの思いや昔の生活状況を聴き情報交換を行い相談しながらコミュニケーションの仲立ちを行っている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族との面会や友人知人との面会も自由である。自宅等への外出、外泊も奨励している。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一人ひとりの性格やこれまでの生活環境を把握し相性の良し悪しを含めた上で声掛けや対応を心がけ仲立ちを行っている。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	電話や相談等あれば助言を行ったりする事もあると思うが現在ではそういった連絡や訪問は来っていない。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その時々々の個々の状態や表情から希望や意向を読み取り「その人らしさ」を考えたプランであり実行可能なものとなるような作成を行っている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や利用者本人からの情報、前施設や市町村からの情報と、日々の生活の中からの行動を観察することで課題を見出している。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	これまでの生活歴や環境を踏まえ日々の生活の中で出来る事、出来そうな事への参加を促し記録に残している。	○ 昼夜逆転の利用者については時間を追い詳しく記録するように心がけている。(バイタルサイン、表情、行動等)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族の双方の希望を事前に聴いている。プランに反映でき職員に共有してもらう為にも日常的にケアについて話し合っている。プラン内容はその都度わかりやすく説明を行っている。	○ 今後はファミリーカンファレンスも定期的にも実施できるよう取組んでいきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現状に見合ったプラン作りを行う上でも情報を出来るだけ多く収集し話し合いの場を持つ。プラン期限内でも状態に変化があればその都度プランの見直しを検討する。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	○	<p>気づきの記録が増えるよう、職員全員が視点のポイントを掴んでいけるようになる為の問いかけを習慣的に行いたい。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	○	<p>介護度が軽くなり地域での暮らしが可能になれば、ご本人やご家族の意向を聞き地域資源も活用できるよう共に考えていきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>入院によって住み替えの状況を迎えられた方に対して、これまでの生活状況やADLについての情報提供は行ってきた。</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日頃から声掛けや対応には特に注意を払っている。また、粗雑な言葉遣いのスタッフにはその都度注意喚起している。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>話しを聴き何を訴えようとしているかをいち早く理解するよう努め、自身の望む答えを引き出す事で混乱を防ぐようにしている。</p>	<p>○</p> <p>時には長い時間をかけてでも傾聴に徹し納得のいくまで話しを聴く事で安心されている。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>希望にそった一日の過ごし方をすべての利用者が出来ている訳ではないが、少しでも笑顔が見られる関わり方を職員一人ひとりが工夫をしている。また、行動を抑制するような言葉遣いには注意をはらっている。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>一人で衣服を選べない利用者については職員が付き好みのものを選んで。理、美容は希望時に家族へ連絡し対応をしてもらっている。</p>	<p>○</p> <p>整髪や起床時の洗顔・爪切りなどのあたり前のケアがぬかっている事が有る為、あたり前のことを確実にできる職員を増やしたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	プランに組み入れており今後も可能な限り継続していく。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	既往歴からカロリー制限がある利用者も居られるが気にせず他者と同じものを食べて頂けるよう調理の仕方や盛り付けに工夫を行っていく。低カロリーの食材を沢山食べて戴いて満足していただける工夫をしたい。
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	日中はやむを得ずの場合や外出時を除きスキントラブル防止の為にも尿とりパットやオムツの使用は極力避けている。夜間は安眠確保の為に紙パンツと尿とりパットを着用している利用者も居られる。間に合わずの失禁時には陰部洗浄や清拭を行っている。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	気持ちの良い入浴を行うために、最初はぬるめで徐々に熱めにする・シャワーの掛け方に配慮する等あたり前のちょっとした心遣いを行えるように全職員で考えて行きたい。
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	プランに組み入れており今後も可能な限り継続していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在は要望の有る利用者2名程度がお小遣いを持参されている。職員の意識の中に無くしたりどこかに置き忘れてきた時の心配の意識がある。	○	お買い物にお連れして、自分で支払いをして頂くことを定期的に行いたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の日課に散歩を取り入れている。近隣の市やドライブにも行っている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	近隣で行われている催し物へ出かけ普段と違った雰囲気を楽しんでいる。	○	個別で家族と外出される利用者は居られるがホームとして家族を巻き込んでの外出は行えておらず今後も課題である。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればいつでも電話をかけ直接話しをして頂いている。手紙も届けば本人に手渡している。	○	利用者に来た手紙にお返事を出すお手伝いを行う。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族や親戚の方がいつでも気軽に来られリビングや居室等の利用者が落ち着ける場所で過ごして頂いている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	転倒、転落の危険性や離設の可能性があっても付き添いや見守りで対応を行っている。職員が何気なく使った言葉が抑制の意味を持っていることがある。	○	言葉の抑制について今一度職員で話し合い、抑制の意味についての理解を深めたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> <p>日中は鍵を掛けず、利用者の所在を見守っている。夜間は、不審者などの心配があり施錠を行っている。</p>	○	日頃から玄関チャイムには特に敏感となり鳴ればすぐに確認に行くようにしている。夜間の戸締りにおいても人と時間を決め職員同士が声を掛け合っている。
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> <p>常に所在確認や環境整備を行い、職員同士が声を掛け合いながら安全確認を行っている。</p>	○	誰がどこで何をしているのか常に意識を持ちながら業務に当たっている。
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> <p>洗剤や薬、破損の食器等の注意が必要な物品は利用者の目に触れず手の届かない場所に保管している。</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> <p>日頃より環境整備に努めマニュアルも作成しているが何らかの事故が起きた場合すぐに報告書を作成すると共に改善面も同時に考え、話し合い統一したケアを再確認している。</p>	○	利用者一人ひとりの心身状態や既往歴を把握するよう職員には話している。特に薬に関しては名前、日付、時間を服用前に声に出して確認するよう周知している。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> <p>緊急時の対応としてマニュアルを作成しすぐに行動に移せるよう日頃から話している。こういったテーマの勉強会へは積極的に参加をしてもらっている。</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> <p>年2回の火災避難訓練には利用者も参加をもらっている。隣接の老健とはいつでも協力し合えるよう日頃より声を掛け合っている。地区の防災訓練があれば声を掛けていただけるよう運営推進会議を通じてお願いをしている。</p>	○	施設独自の防災マニュアルの作成に向け取組んでいる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	事前の危険物の除去や環境整備を行い、声掛けや見守り等で回避する事を心がけている。入居時を含め家族にもお話しをしている。	○	利用者の疾患からくるリスクに対しては健康診断や毎月の応診時、何らかの受診時に担当医師より説明を行っている。また、家族と共に本人にとって一番良いと思われる対応を検討していく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の健康状態を把握し何らかの異常時は適時早目の受診対応を行っている。月2回の協力医療機関からの往診や夜間の急変等あればすぐに看護師に連絡及び主治医に報告し指示をもらっている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については指示通り服用している。薬の効用や副作用については利用者の変化の都度処方箋の確認を行っている。事故対策にも努め服用前には名前、日付、時間を復唱するようにしている。	○	全職員がいつでも処方箋を見て確認が出来る様、カルテには常に最新のものを入れるようにしたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	下剤のみに頼ることなく毎食の食材や水分、散歩や体操等の運動にも心がけている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後は利用者全員に歯磨きやうがいの声掛けと援助を行っている。義歯使用の利用者は日中や夜間など可能な時間帯に預かり消毒を行っている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材のバランス、蛋白質、カロリーを基本に置き一人ひとりに合った分量に気を付けている。水分も1日の最低摂取量を確保できるよう工夫を行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	室内の掃除、換気、寝具類の交換や布団干し、手洗いやうがいの実施をこまめに行い、水分補給も行っている。マニュアルも作成しており誰でもいつでも見れるようにしている。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的な冷蔵庫の清掃、台所周辺の清掃及び布巾やまな板は毎日消毒を行っている。	○	常に新鮮な食材を使い賞味期限等に配慮している。また、媒介要因ともなることから防虫対策をし調理器具の衛生管理に十分な注意を払っていきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	普通の家の玄関間取りとさほど変わらぬ設計と家族の自宅や職員自宅の季節の花々を飾り親しみが持てるような工夫を行っている。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾り付けを行い音や光には日頃から十分な注意を払っている。畳スペースもあり広さ的にも適当と思われる。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングやソファ、畳にて好きなように自由に過ごしてもらっている。利用者同士の会話が弾んだり何らかの手伝いをして頂いたり、熱心にテレビを視聴される事もある。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	全員ではないが自宅で使用されていたタンスや椅 子、仏壇等の愛用の品々を持込まれている。	
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	健康状態に注意し体調を崩さないよう温度調節に は注意を払っている。換気も常に24時間行い、 日中の天気の良い日は全ての窓を開け新鮮な外気 を取り入れている。	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	各トイレ、浴室、廊下階段には手すりが設置され ている。浴槽内は滑り止めマットを使用してい る。物干し台や洗面台、流し台の高さも適当であ る。	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	個々の居室前には名前や写真でわかりやすくし、 トイレ近くに目立つよう表示をしている。リビン グの目立つ所に時計やカレンダーを設置し会話の 中で毎日の日時を確認している。	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	庭やベランダへは自由に入出入りされ、洗濯物や布 団干し、取り込み等の手伝いをして下さる等活用 を行っている。	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
##	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・毎日の散歩や体操で身体を動かし、歌を唄い声を出す。
- ・家事等への参加で「出来る力」を継続していく。
- ・24時間の医療連携体制
- ・地域の行事や催し物への可能な限りの参加
- ・毎日の挨拶や声掛け、笑顔のある環境作り。
- ・個性を大切にしたケア。